

学校だより

地区別懇談会

4月20日、地区別懇談会を開催した。この催しは新入生が同じ出身地区の先輩と初顔合わせをする学校行事で、自己紹介やクイズ、ビンゴ、ゲームを中心とした親睦会である。各教室で人数を制限し、十分な間隔を取りつつ楽しいひとときを過ごした。新入生はこの行事を通じて同郷の先輩を知り、頼りになる存在を得て非常に心強い様子であった。



1年生「初」寮部屋替え

5月14日、寮生の部屋替えを行った。今回の部屋替えは、1年生にとって初めての部屋替えになり導入期間からの同級生しかいない部屋とは異なり、先輩と同部屋になる。

今回は部活動ごとの部屋割りのため、その日の夜からは楽しく会話する様子が伺われた。楽しい寮生活になることを期待する。

スポーツテスト

5月11日、スポーツテストが行われた。天候にも恵まれ生徒たちは自分自身の限界を超えるべく、各種目とも真剣に取り組んでいた。なお、結果は9月に通知される。



しっかり準備体操

目標まであと少しだ…きつい～



12、13、14、15…

いくぞ～



イチ、ニのサン!!

2年ぶりの開催

水泳大会

7月20日、2年ぶりとなる水泳大会が開催された。天気も晴天に恵まれ、絶好の水泳日和であった。今年も新型コロナウイルス感染症防止のため、プールサイドに全クラス入れることは避け、競技の模様を動画配信それを寮の食堂で観戦して応援するというスタイルとした。加えて生徒による実況やBGMを新たに導入し、大会を盛り上げる工夫をした。声援こそ少ない静かな大会となったが、競技自体は水泳経験者も多数おり白熱、気温上昇に合わせて生徒たちのボルテージも最高潮に達した。結果は3年機械科がほとんどの種目で高得点を上げ、290点でダントツ優勝を飾った。3年生にとっては思い出深い最後の体育行事となった。



25m自由形 個人1位 3W 佐川君



ライブ配信をしてくれた生徒です。食堂では、白熱した競技の様子に盛り上がりました!

ダントツの優勝おめでとう



気合い入れていくぞ～



白熱した水球



後ろから押せ!



優勝 3年機械科 担任 鈴木常男先生



負けねーぞー



第1回 オープンスクール

7月22日、今年度最初のオープンスクールが開催された。午前中は実習棟の見学をし、実習説明時には活発な質疑が多々見られた。今年もコ



仕上げの極意を説明してくれた中嶋君



シーケンス制御実習を説明してくれた関口君



大野君の説明に見学者も興味津々



午後はオンラインで開催菅野君、檜山君が部活や学校の中を案内してくれました



フライス実習を説明してくれた岩本君

ターや作品、道



←オープンスクールのお申し込みはこちらから

コロナ対策で2〜3割少ない定員だったが、県内外から61組が参加してくれた。5〜6組の参加者を2人の日

専校生が案内したが、どのグループも笑顔が見られ、話が盛り上がったようだ。実習説明担当の生徒はモニ

トヨタ学園とのリモート交流会

7月16日、トヨタ工業学園とのリモート交流会を実施した。数年前よりお互いの学校を訪問して交流を深めている。昨年春からはWEB会議システムを利用し、リモートでの交流が続いている。グループディスカッションには3年生の生徒会・寮部活・技能五輪、そして2年生のリリーダ候補生が参加した。後半はブレイクアウトルーム機能によって5つの班に分かれ、それぞれ企業学校としての目的や職場で「戦力」になるためのキーワードを考え、日常の取り組みに繋げていく施策を考えた。

インターハイ全国大会出場

7月28日から8月1日の5日間、福井県福井市で開催される、令和3年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）陸上競技大会に3年機械科（齋藤海生）が男子三段跳びに出場することとなった。本年5月に開催された茨城県県北地区大会では14m41の自己新記録で見事第1位に輝き、出場権を獲得した。6月の関東大会では14m33の成績で第4位を獲得し、めでたく全国大会の切符を手に入れた。



練習の成果を発揮し、頑張れ 海生君！

本大会出場に際し、日工同窓会をはじめとし学校全体での応援をいただき感謝申し上げます。これまでの経験を通して人格面でもさらに成長するとともに、本番では決勝進出を目標に精一杯頑張りたい。皆さまのご声援を宜しくお願いいたします。



また、2年生には初めての交流となったがとても良い刺激になったようだ。今後も3か月に1程度程度の間隔で交流を続けていく予定。モノづくりの未来を担っていく生徒たちに大いに期待しつつ、職員も切磋琢磨していきたい。



みんなで“HITACHI”ポーズ

部活動から得たもの

3M 藤田 羅生

僕は、この学校の剣道部に所属して自分の中で大きく変わったことがあります。それは、「やらされる稽古」から「求める稽古」になったことです。自分の稽古は、基本打ちの攻め合いなども流れ作業になっていて緊張感が無く、やらされているような稽古だと先生やOBの先輩に指摘されたことがあります。そのアドバイスを受けて、自分が手本にさせていたいたのは部長の本名先生でした。本名先生は、剣道の最高段位である八段を取得されています。そんな先生と、自分たちが基本打ちから稽古をさせていたたく機会があるのですが本名先生の稽古を間近で受けるると気迫から打突まで全てにおいて圧倒され、沢山のことを学ぶことのできる貴重な稽古です。

なかでもその時の自分と大きく違ったのは、稽古を求める姿勢です。



本名教頭先生 3M: 藤田羅生

た。先生は自分の悪いところを見つめるため毎回鏡の前で確認を行い、一本一本試合を想定した形で攻め合いだけでも時間を沢山使われていてその時の自分とは真逆の稽古をされていた。それからは自分も求める稽古をするようになりました。そして求める姿勢がついたことよって勉強や私生活にも影響が出てきました。この求める姿勢は、これからの会社生活でもとても活かせることだと思います。



剣道部では主将を務め、気合いと持ち前のユーモアさで剣道部を牽引してくれました

部 活 動 結 果

【サッカー】

全国高等学校総合体育大会
東北予選大会

トーナメント1回戦
対 日立工業
0-1 敗戦



【テニス】

全国高校ソフトテニス大会茨城県予選

<1回戦>

本 校 ②-1 古河三高 (県西2位)
本 間・海老原 ④-3
中 嶋・ 森 1-④
芳 賀・大 内 ④-2

<2回戦>

本 校 0-③ 鹿島学園 (第7シード)
中 嶋・ 森 3-④
本 間・海老原 0-④
芳 賀・大 内 3-④
※ベスト16



【剣道】

第68回全国高等学校剣道大会茨城県予選会
(男子団体)

1回戦 対 古河中等
先鋒 佐川 (3W) 1本勝ち (ド)
次鋒 小松 (3M) 引き分け
中堅 佐藤 (3M) 2本負け (ド)(×)
副将 濱野 (3M) 引き分け
大将 藤田 (3M) 引き分け (×)
1勝 (2本) - 1勝 (3本) 本数差で敗退



【野球】全国高校野球選手権茨城大会

1回戦 対 大子清流高校
延長10回 3-2で勝利
2回戦 対 藤代高校
7回コールド 0-8敗退



【バスケ】

全国高等学校総合体育大会
茨城県予選大会
対 取手二高戦
54-95敗退



【バレー】

全国高等学校総合体育大会
茨城県予選大会
科技日立 1-2 茨城高校
25-19
13-25
25-27



【卓球】

総合体育大会 茨城県予選
学校対抗 対水戸一高 0-3 初戦敗退

◆個人ダブルス

征矢、酒井組
1回戦 対 酒寄、谷島 (下館工業) 3-0 勝利
2回戦 対 門田、中村 (神栖) 2-3 敗退

◆個人シングル

征矢
1回戦 対 藤本 (下妻一) 0-3 敗退